

MSDN Library 活用方法

はなおか じった@わんくま同盟



目標

「検索できるようになる」
までの時間を短くする

アジェンダ

- 調査手段(長所と短所)
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索の仕方
- 検索テクニック
- オンライン活用

わからないことを調べる手段

- MSDN Library
- 書籍 (Web サイト)
- 周りの人
- Web 掲示板



長所(1)

- MSDN Library
 - 公式説明書
 - IDE から直接検索できる
- 書籍
 - 解説付き
 - やりたいことから調べられる
 - 実績
 - 書き込みができる

長所(2)

- 周りの人
 - わかるまで教えてもらえる
 - レスポンスがはやい
- Web 掲示板
 - すごい人が教えてくれる
 - 自分で調べるよりはやくかもしれない

短所(1)

- MSDN Library
 - 難解な日本語がある
 - どこに何が書いてあるかわからない
- 書籍
 - 値段が高い
 - 探すのが難しい
 - 自分にあった書籍とは？

短所(2)

- 周りの人
 - 同じ知識レベルの人ばかりかも？
- Web 掲示板
 - 誰も知らないかもしれない
 - いつ返事があるかわからない

調査順序(推奨)

- MSDN Library
 - IDE から [F1]
- 書籍
 - ひとつのテーマをまとめて書いてある
- Web サイト
 - 検索ワードさえ知っていれば

調査順序(推奨)

- やってみる
 - 体験が一番の教師
- 周りの人
 - 尋ねるより、内容の整理を目的に
- Web 掲示板
 - 最後の手段
 - これまでの調査状況をまとめる

- 調査手段(長所と短所)
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索仕方
- 検索テクニック
- オンライン活用

なぜ「まず MSDN Library」なの？

- 製品付属のドキュメント
 - 製品の仕様書と言って良い
 - 仕様書のミスは一種のバグ
- Web コミュニティは便利？
 - コストを意識していますか？
 - コストと時給は等しくない
 - 自分で調べるより楽？
 - 赤の他人に、問題を的確に伝えられるか

MSDN Library って、なに？

- 教科書（教科の教材として編集された図書。）ではない
- MSDN ... 開発者が情報を共有するための組織
- library ... 図書館／標準プログラムの収集
- 図書館？ ... 資料を蓄積するところ

すなわち、「教えてもう」のではなく、
「学び取る」ために使うもの

括弧内出典：明鏡国語辞典

MSDN Library を活用するために

- 教科書としてではなく、資料として
- 「教わる」のではなく、「学ぶ（見習って知識・知恵・技術などを身につける。）」

括弧内出典：明鏡国語辞典



- 調査手段(長所と短所)
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索仕方
- 検索テクニック
- オンライン活用

MSDN Library の読み方(1)

- 必要になる前に読む
- 開発前、時間が余っているときに読む
 - とりあえず、目を通す
 - 理解しようとするしない
 - 覚えようとするしない
 - ただ、「書いてある」事実だけ知る
 - 「書いてあった」記憶を頼りに、後で検索する

MSDN Library の読み方(2)

- 関連するものを読む
 - 同じ階層の他のトピック
 - 上の階層も読む
 - 関連するクラス、メソッド
 - 参照のループに注意
 - 「目次と同期」を使う(オンラインだと使えない)
 - 常に「どこにいるか」に注意
 - 「新しいウィンドウで表示」

MSDN Library の読み方(3)

- 日本語だけにこだわらない
 - 英語の方が情報は豊富
 - 誤訳、珍訳も多い
 - メニューの階層を頼りに英語を探す
 - 逆に、英語から日本語も探せる

MSDNライブラリの読み方 (MS佐藤精一さん推奨)

- 読み物として、まず読んでください

- 開発ツールと言語ドキュメント

- Visual Studio ドキュメント

- [Visual Studio での .NET Framework プログラミング](#)

- コミュニティにおけるマイクロソフト社員による発言やコメントは、マイクロソフトの正式な見解またはコメントではありません。詳しくは <http://www.microsoft.com/japan/communities/msp.msp> をご覧ください。

- 調査手段(長所と短所)
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索の仕方
- 検索テクニック
- オンライン活用

MSDN Library の検索の仕方(1)

- まず、「ヘルプに関するヘルプ」
 - 効率よく検索する方法
 - 検索演算子の説明
 - ストップワードの一覧

MSDN Library の検索の仕方(2)

- 「フィルタ」を使いこなす
 - VS.NET 2003 なら「フィルタのカスタマイズ」
- Document Explorer はカスタマイズできなくなりました
 - 「目次フィルタ」と「検索フィルタ」

MSDN Library の検索の仕方(3)

- 知っているキーワードを入力
 - 名前空間、クラス名から入力
 - System. Windows. Forms. Form
 - Form. Activated
 - クラスの説明 → メンバー一覧 → メンバの説明
 - 何を目的にまとめているのか知る
 - 一覧から、目的のものを探す
 - 目的にあっているか、確認する

MSDN Library の検索の仕方(4)

- 他の言葉で検索してみる
 - 「検索」→「探す」・「調べる」・「調査」
 - 「取る」→「削除」・「削る」・「除く」
- ひらがなを削除する
 - 「ファイルをコピーする」→「ファイル コピー」
 - 「左側の空白を取るには」→「左 空白 取」
 - (検索エンジンがやってくれる)
- 「自分なら、どのような文章にするだろう？」

- 調査手段(長所と短所)
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索仕方
- **検索テクニック**
- オンライン活用

検索を使いこなす(1)

- 検索演算子を使いこなす

- 「ファイル NEAR コピー」

- ファイルがコピーされます
 - ファイルをコピーします
 - ファイルを削除する前にコピーします

- 「(左 OR 前方) 空白 (取 OR 削除)」

- 前方にある空白文字を削除します
 - 前方から検索し、最初の空白でない文字までを削除します
 - 左側の空白文字を取り除きます

検索を使いこなす(2)

- ストップワードを知る／回避する
 - 冠詞などは、検索対象とならない
 - 「.net」 → ドットは検索できない
 - 「is 演算子」 → 「"is演算子"」
- 順番を変える
 - 検索結果が異なる！！(かもしれない)

オンラインとの連携

- オンラインで検索できるもの／できないもの
 - 「目次と同期」
 - タスク一覧からエラーを[F1]で検索
- [検索]タブ
 - Codezone コミュニティ
 - 質問

オンラインの活用

- "en-us" ←→ "ja-jp"
- コミュニティコンテンツ
 - Wikiのように、補足などを自由に追加
- タグ
 - 検索用のタグを自由に追加、設定
- MSDN フォーラム「ドキュメント フィードバック」
- MVP 経由「日本語品質改善フォーラム」

- 調査手段（長所と短所）
- 「MSDN ライブラリ」考察
- 「MSDN ライブラリ」読み方
- 「MSDN ライブラリ」検索仕方
- 検索テクニック
- **オンライン活用**

オンライン コミュニティの利用

- 「質問の場」ではない
 - 情報交換の場
 - 「こうだと動かない」という情報と、「こうすれば動く」という情報を交換する
- 「予備知識」を得るために
 - ほかの人の質問も読んでみる
 - 使いそうなもの
 - 面白そうなもの

有効な回答を得るコツ

- 詳しく状況説明をする
 - 回答者はエスパーではない
 - 問題を把握しているのは質問者のみ
 - 書かれていないことはわからない
- 省略しない
 - エラー、例外情報は省略しない
 - 試したことは全部書く
 - 書かれていない＝試していない

有効な回答を早く得るために

- あなたの隣の人に聞く
 - 情報を整理する
 - チーム内で情報を共有する
 - チーム内で「車輪の再発明」を防ぐ
 - 早期に問題を報告する
 - 情報の価値を高める
 - 価値の高い情報が返ってくる

まとめ

- MSDN ライブラリの読み方
 - 予習と復習
- MSDN ライブラリの検索の仕方
 - ヘルプのヘルプ
- オンライン コミュニティの活用
 - 情報と情報の交換

謝辞

- 中博俊さん
- 渋谷宏明(ひどり)さん
- きくちゃんさん
- ぽぴ王子様
- 佐藤精一さん(マイクロソフト)

(もれてたらごめん)



Questions?



Thanks a lot !!